

事務事業名		ごみ収集処理事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		環境課		H27係等名	廃棄物対策係		H26係等名	廃棄物対策係		
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
		施策	56	廃棄物の減量と適正処理						
目的	対象(誰・何を)	市内で発生する家庭系一般廃棄物(処分ごみ・資源ごみ)				対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	市内の集積所から適正に収集される					廃棄物(ごみの収集量+直接搬入量)(t/年)		21630	
	向上させたい上位施策の成果指標	ごみの収集量								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	ごみの収集量(家庭系一般廃棄物)(t/年)			21190	21630	20896	20562		
	成果指標	再資源化率(家庭系一般廃棄物)(%) (資源ごみの量/(ごみの収集量+直接搬入量))			35	32.3	35.1	35.2		
事業概要	<p>業者への委託により、家庭からごみ集積所に出されたごみの収集運搬を行うほか、粗大ごみの戸別収集を行う。また、ごみリサイクルカレンダーを作成、配布し、ごみの適正処理を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市民生活における適正処理の推進 2 事業における適正処理の推進 3 収集・運搬委託における適正処理の推進 4 適正な処理のための調査研究 									
事業内容					名称			活動指標		
26年度事業内容	1(1) ごみ・リサイクルカレンダー、ごみ分別ガイドブックの作成、配布、閲覧 ア ごみ・リサイクルカレンダーの作成 イ ごみ・リサイクルカレンダー配布(組合未加入世帯) (2) 不適切な野外焼却の防止 (3) 粗大ごみ戸別収集の推進 2(1) 一般廃棄物処理業、処理施設許可 3(1) 家庭から排出されるごみの収集運搬業者に対する適正処理の指導 監督 ア 塵芥収集運搬業務及びリサイクルステーション回収 イ 廃乾電池処理事業				1(1)ア 印刷枚数 イ 配布件数 (3) 収集件数 2(1) 許可事案件数 3(1)イ 処理量			1(1)ア 62,000枚 イ 10,386件 (3) 90件 2(1) 70件 3(1)イ 28t		
	事業コスト					25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		279,611	286,047	285,768	286,657	(そ)一般廃棄物処理業許可手数料117千円、粗大ごみ戸別収集処理手数料420千円、諸収入1,127千円				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		1,700	2,735	1,664	6,523					
一般財源		277,911	283,312	284,104	280,134					
人件費計(千円)②		5,757		5,757						
正規職員所要時間		1,610		1,610						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		285,368	286,047	291,525	286,657					
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成26年度も滞ることなく適正に家庭から排出されたごみの収集を実施した。ごみの収集量(家庭系一般廃棄物)の合計は2万1,630トンで、前年度と比べて減少した。「飯田市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」(平成24年度～28年度)における計画値2万1,190トンと比較すると440トンの増となっている。									
改革改善の考え方	①問題点	南信州広域連合が建設する次期ごみ中間処理施設の稼働に伴う次期ごみ処理体制								
	②改革提案	他町村と調整を図る中、次期一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の立案に併せて、ごみ処理体制を検討する。								